

## 「岩国市博物館基本計画（案）」に対するパブリックコメントの結果について

- ・募集期間 令和4年2月1日～令和4年3月2日
- ・対象者 市内に在住、在学または勤務する人、事業所を有するもの及び納税義務を有するもの
- ・閲覧場所 市役所情報コーナー（本庁舎2階）、各総合支所、各支所、各出張所、岩国市中央図書館、岩国市中央公民館、岩国徴古館、岩国市ホームページ
- ・提出方法 郵送、ファクス、Eメールまたは直接、岩国徴古館へ提出
- ・意見数 15人、38件

提出された意見の要旨と、その意見に対する市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表します。

### 第1章 計画の策定

項目	番号	御意見の要旨	市の考え方及び対応方針
計画策定の背景	1	<p><b>○文章表現・構成について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル「(2)岩国市の歴史背景と、歴史的・文化的資料の継承活用」は、「(2)岩国市の歴史背景と、歴史的・文化的資料の継承活用に係る喫緊の課題」とし、次の「(3)岩国市博物館等施設再整備計画の策定」に繋げることが適切。</li> <li>・挙げられている課題は、将来的な課題ではなく、現時点で発生している課題であるため、9行目の「将来的な」や11行目の「今後」は、削除すべき。</li> <li>・(2)節の締めくくりの文章としては、「比較的新しい時代の資料群も存在しています。」を「比較的新しい時代の資料群も存在するなど、歴史的・文化的資料の総合的、かつ体系的な継承活用が喫緊の課題となっています。」とすると、次の「(3)岩国市博物館等施設再整備計画の策定」にスムーズに繋がる。</li> <li>・(2)の16～19行目の「こうした現在の(中略)策定しました。」は、(2)から外し、(3)の冒頭の重複文章と入れ換えるべき。</li> </ul>	<p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■p.7「(2)岩国市の歴史背景と、歴史的・文化的資料の継承活用」を、「(2)岩国市の歴史背景と、歴史的・文化的資料の継承と活用に係る喫緊の課題」に修正します。</li> <li>■p.7(2)節9行目の「将来的な」や11行目の「今後」といった文言を削除します。</li> <li>■p.7(2)節の締めくくりの文章「比較的新しい時代の資料群も存在しています。」を「行政文書のような比較的新しい時代の資料群も存在しており、歴史的・文化的資料の総合的かつ体系的な継承活用が喫緊の課題となっています。」に修正します。</li> <li>■p.7(2)の重複文章を削除します。</li> </ul>
	2	<p><b>○資料集約と新博物館の設置について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資料は地域にあってこそその資料であり、資料だけで見学するものではない。集約せず、各所に学芸員をつけて研究すべき。老朽化、展示機能の低下があれば、各所に予算をつけねばいよ。</li> </ul>	<p>・新博物館では、歴史や資料を紹介する中で、実際に各地域へ足を運ぶことを促すような紹介を行い、また、展示テーマにおいても、新博物館では江戸時代に限らず、現在の岩国市の歴史が持つ多様な背景を一か所で学べるようになることが有意義と考えております。</p> <p>・地域資料の活用にあたっては、新博物館だけでなく、支所などでも展示を行うことにより、より多くの人々に見てもらえるような取り組みを検討しております。</p> <p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■p.29&lt; 1 展示コンセプトと基本的な考え方 (2) 展示のポイント&gt;に、「<u>①歴史を通して地域を知る：岩国市全域を対象に各時代の地域の特徴をよく反映したトピックを取り上げ、実際に現地に足を運び、地域をより深く知っていただくきっかけづくりとなる紹介を行っていきます。</u>」と、現地に足を運ぶきっかけづくりとなる考え方に言及し、修正を行います。</li> </ul>
	3	<p><b>○資料集約と新博物館の設置について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画（案）の中に「ここに来れば岩国市のすべてがわかる」と書いてあるが、山間部や辺境地域に有るものが整理統合されれば、より簡便に見学することが難しくなる。義務教育においては、この簡便さが重要と思う。</li> <li>・入館料や維持管理のようなコストの面で集約を考えるのであれば、資料館の集約には反対。</li> </ul>	<p>・新博物館への展示の集約は、地域資料の適切管理と研究・活用促進、そして現在の岩国市の歴史が持つ多様な背景を一か所で学べる場を整備することに主眼を置いた方針によるものです。地域資料の活用にあたっては、新博物館だけでなく、支所などでも展示を行うことにより、より多くの人々に鑑賞してもらえるような取り組みを検討しています。</p> <p>・学校連携に関しても、現在実施している出前授業に加え、体験キットの貸し出しを検討していますが、古民具など総合的な学習での使用頻度が高いと思われる資料については、支所などでの展示や長期貸し出し等、活用しやすい環境整備を目指していきます。具体的な内容は、関連部署とともに検討調整していきます。</p>
	4	<p><b>○資料集約と新博物館収蔵庫スペースの規模について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・p.8に「現状、調査を行った施設だけでも、資料の占有面積は、2,900㎡～4,350㎡」「すべての資料を集約することは厳しい。」とあり、新博物館でも収蔵庫スペースが狭いとなると、資料の散逸につながるのではないかと心配する。</li> <li>・博物館では展示と共に収蔵が最も重要なスペースであり、将来の増築を見越して、サンライフ岩国との調整が必要ではないかと考える。</li> </ul>	<p>・市内各地域に点在する資料の一部については、新博物館への集約を行います。歴史民俗資料館を含む資料の保管環境や地域での利用状況等も鑑みて、各地域での適切な保管が可能な資料については、保管の継続を含めて検討していく方針です。将来の増築等については、貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。</p>

画の振り返りと本計画の目的	5	<p>○『岩国市博物館等施設再整備計画』の抜粋部について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抜粋部の文章等表現が、方針を示しているのか、検討課題を列挙しているのか、よくわからない。</li> <li>・特に、「大方針2」の円形の中の文章を「歴史民俗資料館の展示機能を廃止」とするなら、「2つ目は、新博物館に機能を集約していくことを受けて、由宇・美和・本郷の歴史民俗資料館や岩国学校教育資料館は、<u>新博物館への展示機能を集約していくこととなる。</u>」という下線部分の文章は、「由宇・美和・本郷の歴史民俗資料館や岩国学校教育資料館は、<u>それぞれの展示機能を廃止することとなる。</u>」というような記述しておくべきではないか。</li> </ul> <p>○「大方針2」も、「大方針1」の下部に(歴史民俗資料館の展示機能を廃止)という文章を入れておけば済むことであり、「大方針2」では「資料の管理体制の一元化、管理システムの統一化」という極めて重要な方針を提示すべきであった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再整備計画は振り返りにあたるため、極力原案のまま引用を行っていますので、原案のとおりとします。</li> </ul>
	6	<p>○新博物館の名称について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「岩国市博物館」をそのまま使用するのとは適切ではなく、岩国の歴史を紹介する建物なので「歴史」を入れるべき。</li> <li>・一般的な博物館程の延床面積もないので、資料館か展示館が適当ではないか。次の3案を提案する。1) 岩国歴史資料館2) 岩国歴史展示館3) 徴古館の名前を残し、岩国徴古館旧館、岩国徴古館新館とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名称については今後の検討となりますが、「博物館」という表現については、現在の岩国徴古館も博物館法に基づく登録博物館であり、新たに整備する博物館についても同様に博物館としての位置づけを維持する方針を踏襲するよう考えています。</li> <li>・「歴史」を入れることも含め、貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
	7	<p>○文章表現・構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(2)(仮称)岩国市立博物館の設置と本計画の目的」は、「設置」という用語よりも「立地」の方が適切と考える。</li> <li>・「(仮称)岩国市立博物館(以下、「新博物館」)の候補地としては、(中略)徴古館の周辺が候補地として挙げられます。」という表現では、新博物館の設置場所は未定ということになる。17ページの(2)の「ア.新館の建設予定地は岩国徴古館の隣接地」という表現が使われていることから、ここで「徴古館周辺が建設予定地」という文言の挿入が求められる。</li> <li>・ここは、「(仮称)岩国市立博物館(以下、「新博物館」)の立地については、(中略)徴古館周辺の市有地が設置費用面の提言からみても最適な建設予定地となります。」というように、修正が必要ではないか。</li> </ul>	<p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <p>■p.9 「(2)(仮称)岩国市立博物館の設置と本計画の目的」という項目を、「(2)(仮称)岩国市立博物館の立地と本計画の目的」に変更します。</p> <p>■p.9 「(仮称)岩国市立博物館(以下、「新博物館」)の候補地としては、[～中略～] 徴古館の周辺が候補地として挙げられます。」という文章は、「(仮称)岩国市立博物館(以下、「新博物館」)の立地としては、岩国市の中で歴史の重層性や歴史の風情を感じてもらふこと、また、利用者の使いやすさや現状の文化的な施設との立地関係、資料の管理体制の一元化や施設同士の連携を考えていくと、<u>現在、資料管理や博物館活動の軸である岩国徴古館周辺の市有地が最適な建設予定地として考えられます。</u>」に変更します。</p>
3 新博物館の目指す姿	8	<p>○新博物館の使命・役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新博物館は専門性・集約性が高いことだけでなく、訪れる方、地域住民や子供たちが何度も訪れてもらいたくなる学びの場になってほしい。</li> <li>・分かりやすく、面白く、歴史・文化が今に生きる身近なこととして捉えられ、自分自身で深めていける窓口のような場所。丸一日、滞在しても飽きずに過ごせる施設が良い。</li> <li>・錦帯橋関係についてのすべての事柄は、錦帯橋資料館に集約し専門性を高めていくのが良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)錦帯橋資料館、科学センター等とのすみわけについては、機能の重複のないように留意し、検討していきます。</li> <li>・施設のあり方についても、貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
	9	<p>○新博物館が目指す役割と望まれる効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【地域における役割】の「岩国の新しい魅力をつくる交流の場」について、「岩国の新しい魅力をつくる交流の場」とはどのようなことをイメージされているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新博物館は地域の生涯学習を担う拠点となる施設であり、新博物館のフィールドと資源を活かして、世代や地域を越えた学びと交流が生まれる場にしたいと考えています。</li> <li>・「新しい魅力をつくる」は、展示体験や教育普及活動をきっかけに、自分が知らない岩国の新しい魅力に気付き、周囲に広めていくことや、地域の資源を活かして何ができるか、どんな地域・社会にしていきたいかを想像し行動していくことをイメージしています。</li> <li>・利用者および市民の活動機会の提供や支援体制の整備についても、運営計画のなかで整えていきたいと考えています。</li> </ul> <p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <p>■p.41 ≪1 活動の基本的な考え方≫に(5) 岩国の人と未来をつなぐプログラム展開として、「ア. <u>岩国の魅力を世界に発信し、継承する人を育てる文化交流プログラムの実施を検討します。イ. 地域や個々が持つ課題解決に向けて、市民及び利用者が博物館のフィールドと資源を活用し、主体的に考え活動できる機会づくり、サポート体制づくりを行います。</u>」を追記します。</p>

第2章 全体計画

項目	番号	御意見の要旨	市の考え方及び対応方針
機能別の拡充方針	10	<p>○(1) 収集保存機能について</p> <p>・「●岩国ゆかりの地域資料を所蔵資料として、一次資料(実物)を収集すると共に、入手が困難な場合は、二次資料(複製・模造・写真・映像等)としての収集も検討します。」という文章は「収集も」「検討します。」など表現が消極的。ここは「収集を行います。」とすべきではないか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <p>■p.13&lt; 1機能別の拡充方針 (1) 収集保存機能&gt;の「●岩国ゆかりの地域資料を所蔵資料として、一次資料(実物)を収集すると共に、入手が困難な場合は、二次資料(複製・模造・写真・映像等)としての収集も検討します。」という文章を、「●岩国ゆかりの地域資料を所蔵資料として、一次資料(実物)を収集すると共に、入手が困難な場合は、<u>二次資料(複製・模造・写真・映像等)としての収集も行います。</u>」に修正します。</p>
市内博物館・資料館施設の今後の活用と連携	11	<p>○歴史民俗資料館の活用について</p> <p>・利用の少ない公共施設の廃止には賛成するが、旧郡部の歴史民俗資料館の有効利用も検討して頂きたい。</p> <p>・徴古館に行かなくても各旧郡部の資料館などで全域の歴史文化を楽しめる視聴コーナーなどがあれば、お年寄りも遠くに行かなくても近くで貴重な歴史文化を楽しむことができる取り組み。</p> <p>・例えば、今は世界遺産などバーチャルな映像を体感できる映像・設備や、徴古館や各資料館の資料をナレーション付きの映像で紹介するDVDの制作など。</p>	<p>・歴史民俗資料館の建物については、今後、幅広い活用方法を検討する必要があると認識しており、地元や施設所管部署も含めて、十分協議しながら検討していきます。</p> <p>・活動の基本的な考え方のひとつに、「(4) 地域に根付くネットワークづくりと、地域へ届けるプログラム展開」(p.41 参照)を挙げています。</p> <p>・支所などでの地域巡回型スポット展示の実施やインターネットを活用した情報発信など、地域・学校・家庭から、岩国の歴史文化に気軽に触れて頂ける機会づくりを目指し、今後も取り組み手法の検討を進めていきます。</p> <p>・具体的な手法についても、貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
	12	<p>○歴史民俗資料館の活用について</p> <p>・各地域資料館に収蔵されている古民具は、小学校の社会科や、総合的な学習の時間に、地域住民から当時の様子と合わせて使い方を聞きながら、ものによっては触れることのできる教材として利用されている。徴古館(新博物館)まで出向いての学習となると移動時間や経費のロスが大きくなるので活用が難しくなる。</p> <p>・各地域資料館には古民具を中心に残しておき、煩雑な手続きなしに積極的に利用できるようにしてほしい。</p> <p>・利用可能な部屋の有無や交通アクセスなど、運用上の課題は存在すると思う。地域資料館に平日人が居る状況を作るため、不登校児童生徒の適応教室や、「教育支援教室」の分室として利用し、来訪者との交流や保存資料の活用を行うなど、自立活動支援と合わせた活用も考えられるのではないか。</p>	<p>・歴史民俗資料館の建物については、今後、幅広い活用方法を検討する必要があると認識しており、地元や施設所管部署も含めて、十分協議しながら検討していきます。</p> <p>・学校連携に関しては、体験キットの貸し出しを検討していますが、古民具など総合的な学習で使用することが求められる資料については、支所での展示や長期貸し出しなど、活用しやすい環境整備を目指します。</p>
	13	<p>○歴史民俗資料館の活用について</p> <p>・維持管理費の削減にもなる再編には賛成だが、現在ある建物の有効な利用方法も考えていただきたい。</p> <p>・由宇の歴史民俗資料館を利用し、「岩国市住民が利用できる空間」「他の市民が利用できる空間」「通りすがりでも岩国市がわかる空間」をつくる取り組み。</p> <p>・新設博物館に行かなくてもバーチャル空間で展示物が見られる、日本・世界の博物館がバーチャルで見られる場を作るなど。</p> <p>・ミクロ生物館の移設</p>	<p>・歴史民俗資料館の建物については、今後、幅広い活用方法を検討する必要があると認識しており、地元や施設所管部署も含めて、十分協議しながら検討していきます。</p> <p>・(仮称)錦帯橋資料館、科学センター、ミクロ生物館等、市の教育関連施設とは機能の重複のないように努めるとともに、活動プログラムにおいても連携を図れるよう今後の運営計画の中で調整検討していきます。</p>
	14	<p>○由宇歴史民俗資料館について</p> <p>・日だまりがなくなり、集会所がなくなる。神東に代替施設が欲しいので、そのような使い方も検討してほしい。</p> <p>・体操などでもできる老人の憩いの場所、道の駅のような施設など。</p>	<p>・歴史民俗資料館の建物については、今後、幅広い活用方法を検討する必要があると認識しており、地元や施設所管部署も含めて、十分協議しながら検討していきます。</p>
	15	<p>○由宇歴史民俗資料館について</p> <p>・景色の大変良いロケーションにあり、建物も個性的で、倉庫に利用するには勿体無い。</p> <p>・湖風公園や神東協議会などと協同してレストランなどの集客施設としての利用は考えられないか。</p>	<p>・歴史民俗資料館の建物については、今後、幅広い活用方法を検討する必要があると認識しており、地元や施設所管部署も含めて、十分協議しながら検討していきます。</p>

第3章 施設計画

項目	番号	御意見の要旨	市の考え方及び対応方針
基本的な設考整備の方	16	<p>○吉香公園及び城下町地区との一体的な整備について（外構整備）</p> <p>・現在の徴古館外構は、つつじの生け垣となっているが、吉川史料館やサンライフ岩国を囲む塀と同じく白壁瓦葺きに戻し、周辺と一体的な整備をしていただきたい。</p>	<p>・施設の設計にあたっては、歴史性や周辺の景観（岩国徴古館・旧吉川家岩国事務所等）に配慮して進めていきます。ご指摘の位置は今回の整備範囲ではありませんが、公園整備への貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
諸室機能と求められる構成	17	<p>○常設展示室について</p> <p>・常設展示室の[設計機能与件]では、企画展示室は恒温恒湿の室内環境の保持は必要なのか。</p>	<p>・常設展示室については、既存施設である岩国徴古館に配置する都合上、展示空間全体で高水準での空調制御を保つことが困難ではありますが、文化財の劣化要因を減らすための対策は、改修に合わせて常設展示室においても検討し、展示環境の向上に努めていきます。</p> <p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <p>■p.19&lt;2 求められる諸室機能と構成&gt;の常設展示室〔設計機能与件〕に、「<b>●文化財の劣化要因を減らすため、空調・照明や断熱の見直し等の実施を改修に合わせて検討します。貴重資料を展示する場合には、気密性と調湿性に優れた独立型のエアタイトケースを採用する等、展示環境の向上に努めます。</b>」を追記します。</p>
	18	<p>○企画展及び収蔵庫について</p> <p>・企画展を楽しみにしている。ぜひ他館とも連携して絵画・美術などの展示も行ってほしい。</p> <p>・大型収蔵庫は魅力ある展示を行う上で大事な要素と思う。収蔵スペースが大きく取れずに、収蔵環境が点在するようになると管理が大変ではないか感じる。</p>	<p>・施設整備時の資料集約にあたっては今後収蔵方針を明確にし、資料価値や状態を鑑みて、新館収蔵庫や、隣接する収蔵庫棟など収蔵場所の区分を行っていきます。</p>
おける施設設計事項に	19	<p>○（2）施設計画における配慮事項について</p> <p>・「ア.配置計画・アプローチの考え方」について、利用者への快適な動線を提供するためには、徴古館の常設展示室と新館の企画展示室を結ぶ、屋根付き渡り廊下を設置すべき。</p> <p>・<b>●洪水浸水想定区域を考慮した防災計画を行います。（当該地域は2.0m以上5.0m未満区域）</b>とありますが、具体的にはどのような計画になるのか。</p> <p>・また、この防災計画は、岩国徴古館や第一収蔵庫、第二収蔵庫にも適用にすることになるか。</p>	<p>・連絡通路を設置する場合、岩国徴古館の防火・耐震等の安全基準や防災計画を現行の建築基準法に適合する必要があるとあり、登録有形文化財・重要文化的景観との整合を図ることが課題となります。今後の検討における貴重な意見として参考にさせていただきます。</p> <p>・洪水浸水区域を考慮した防災計画については、&lt;2 求められる諸室機能と構成&gt;の収蔵庫〔設計機能与件〕記載の「2階に配し、床高さを5.0m以上に設定すること」（p.20 参照）や機械室〔設計機能与件〕記載「電気室への水の侵入を防ぐ」（p.22 参照）などの設計配慮が当てはまります。</p> <p>・既存施設への防災計画の適用については、現状の機能配置と各施設の利用目的を踏まえて必要な改修の検討実施を行ってきます。</p>
施設構成案	20	<p>○p.27（1）施設機能・構成概念図について</p> <p>・方位を考えたとき配置図がP.24の配置とマッチしない。裏面から見ると適正となるのでは。</p>	<p>・概念図のため、実際の配置とは異なるため、それが分かるよう記述を配慮します。</p> <p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <p>■p.26の図に対して、「<b>※上記構成図は施設機能とエリア間の関係性を示した概念的な図のため、実際の配置とは異なる。</b>」を追記します。</p>

第4章 展示計画

項目	番号	御意見の要旨	市の考え方及び対応方針
1 展 示 的 な 考 え 方 と 基 本	21	<p><b>Op.30 (1) 展示の基本的な考え方について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この節の4行目の「大人から子どもまで(後略)」は、「国籍を越えて大人から子どもまで(後略)」とすべき。</li> <li>また、外国人も楽しく、分かりやすく岩国の歴史と文化が学べるよう、多言語対話型音声サービスのシステムのほか、予算が許す限りARやVRによる展示システムを導入してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解説の多言語化および多言語ガイドの導入は必須と考えています。展示ターゲット及び展示解説のあり方としてだけでなく、教育普及活動の中でも、外国語ガイドでのワークショップ開催等の岩国の歴史文化を知る観光体験の提供や、文化の相互理解を意欲した国際交流プログラムなど検討していきたいと考えています。</li> <li>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</li> <li>■ p.41&lt; 1 活動の基本的な考え方&gt;に(5)岩国の人と未来をつなぐプログラム展開として、「ア. 岩国の魅力を世界に発信し、継承する人を育てる文化交流プログラムの実施を検討します。 イ. 地域や個々が持つ課題解決に向けて、市民及び利用者が博物館のフィールドと資源を活用し、主体的に考え活動できる機会づくり、サポート体制づくりを行います。」を追記します。</li> </ul>
2 展 示 室 全 景 イ メ ー ジ	22	<p><b>OP.31: 新館各室構成配置図について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エントランスの表示があれば見易くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</li> <li>■ p.32の図中に、新館エントランスの図示を行います。</li> </ul>
3 展 示 構	23	<p><b>○展示テーマに及び手法について (導入展示)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去だけでなく、未来の姿も提示し、「岩国は将来このようになるんだ。だったら、将来の岩国では皆と楽しく過ごせよう。」と思わせる時代設定や時代の気分的枠組みを創るのも博物館の役割ではないか。</li> <li>「岩国の新しい魅力をつくる交流の場」「世代間・地域間交流の誘発」という新博物館が目指す役割にももつながらと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史を引き継ぎ未来を意識する場としての重要性を踏まえ、展示の基本的な考え方及び展示コンセプトについて見直しを行います。基本計画では未来志向を取り入れていく方向性を定め、歴史博物館として活動できることを展示だけでなく活動プログラムも含めて、今後運営計画の中でも引き続き検討していきます。</li> <li>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</li> <li>■ p.29&lt; 1 展示の基本的な考え方とコンセプト (1)展示の基本的な考え方&gt;の本文、「新博物館は各地域が市として一体となったことを歴史文化の視点から伝えていく施設として位置づけられます。展示の中でも“ここに来れば岩国市の歴史がすべてわかる”ことを目指していくことが必要です。大人から子供まで体験展示等を通して歴史や文化を楽しく学ぶことができる施設として、検討を進めていきます。」から、「<u>新博物館は、岩国市内の各地域が市として一体となったことを歴史文化の視点から伝えていく、“ここに来れば岩国市の歴史がすべてわかる”施設であることが求められます。各地域で積み重ねられてきた歴史から岩国市の今を知り、未来に繋げていくかはしとして、大人から子供まで楽しく学びながら「もっと知りたい」「やってみよう」「伝えたい」という思いを育てる展示を行います。</u>」に修正します。</li> <li>■ p.40&lt; 1 活動の基本的な考え方 (5) 岩国の人と未来をつなぐプログラム展開&gt;として、「ア. 岩国の魅力を世界に発信し、継承する人を育てる文化交流プログラムの実施を検討します。 イ. 地域や個々の関心に対して、市民及び利用者が博物館のフィールドと資源を活用し、主体的に考え活動できる機会づくり、サポート体制づくりを行います。」を追記します。</li> </ul>
24		<p><b>○展示テーマに及び手法について (導入展示)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「岩国のうつつかわり」で、自然地理・地形・気候・近年の災害(地震・水害)などを風土の特色と共に知りたい。</li> <li>あわせて、視覚的に立体感を感じる体験など映像体験も加わると面白い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入展示では、各地域の地形・風土も併せて紹介していきたいと考えています。展示解説の手法についても貴重なご意見として、今後の計画に活かしていきます。</li> </ul>
25		<p><b>○展示テーマについて (常設展示の題材)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常設展示コーナーにおいて、外国との交易・貿易・交流について知りたい。</li> <li>現在も基地の町として名高い岩国で、岩国と外国(基地)とのつながりや、影響を受けた岩国の偉人などもおられたのかなどが知れると歴史の奥深さを感じられるように思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示項目案に挙げている「近世:朝鮮通信使」「近代:岩国英国語学所と岩国の近代教育」など、岩国と世界との交流については、常設展、または企画展の展示トピックを選定するうえでの貴重なご意見とし、今後の計画に活かしていきます。</li> </ul>

26	<p><b>○展示テーマについて（常設展示の地域性）</b>          ・資料館などを統廃合し、市内に点在する貴重な歴史文化遺産を、新しい「博物館」に集約し、展示・保管することには、原則賛成。          ・北部山代地域は、萩毛利藩直轄領であった関係で、吉川藩（岩国地域）とはまた違った歴史資産・文化遺産を見ることができると。          ・山代地域（毛利藩）の常設展示室設置など岩国地域に限らない展示テーマで、近隣の吉川史料館や新錦帯橋資料館とはまた一味違った博物館を目指してほしい。</p>	<p>・新博物館では、歴史や資料を紹介する中で、実際に各地域へ足を運ぶことを促すような紹介を行い、また、展示テーマにおいても、新博物館では江戸時代に限らず、現在の岩国市の歴史が持つ多様な背景を一か所で学べるようになることが有意義と考えております。          ・展示で紹介するトピックについては新博物館の計画立地である岩国地域に偏らず、岩国市全域を取り上げていきます。</p>
27	<p><b>○展示テーマについて（郷土文化・民俗）</b>          ・暮らし、とりわけ、食文化について農業の流れから今の特産に通ずる岩国寿司・酒の詳細など紹介されていると興味深い。          ・活動プログラムとしても物産品を掘り下げたワークショップや体験企画があっても子供から大人まで楽しめるのではないかと。          ・民俗芸能も子供から大人まで比較的興味を持ちやすいのではないかと思う。音楽やスポーツに関しても。岩国にどんな歴史があるか、有名な方がおられたのか興味がある。</p>	<p>・常設展示（民俗展示・郷土文化展示コーナー）、または企画展の展示トピックを選定するうえでの貴重なご意見とし、今後の計画に活かしていきます。</p>
28	<p><b>○展示テーマについて（郷土文化展示コーナー 岩国の偉人を知る展示）</b>          ・岩国市には、明治以前の歴史上の人物だけでなく、近現代にも岩国徴古館設計の建築家をはじめ、政治家、法学者、政治・経済学者、数学者、発明家・起業家、文学者、文芸評論家、小説家、漫画家、彫刻家、作曲家、オリンピック金メダリストなどの多種多様な偉人が存在し、錦帯橋周辺や吉香公園内にそれぞれの立志の碑や記念碑等がある。これらの碑を巡る博物館周りの散策を進めるコーナーの設置、デジタルマップやパンフレットを作成してほしい。</p>	<p>・新博物館では、歴史や資料を紹介する中で、実際に各地域へ足を運ぶことを促すような紹介をしていきたいと考えています。          ・人物ゆかりの資料館との資料連携や紹介など展示面での取り組みのほか、市内各地への誘導やスマートフォン等のデジタル端末を用いて史跡、地域の文化・産業等館外のまちあるきへと情報を持ち出せる閲覧情報のブックマークやマイマップ等の機能の提供も検討しています。（p.39参照）</p> <p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。          ■p.29&lt; 1 展示コンセプトと基本的な考え方 （2）展示のポイント&gt;に、「①歴史を通して地域を知る：岩国市全域を対象に各時代の地域の特徴をよく反映したトピックを取り上げ、実際に現地に足を運び、地域をより深く知っていただくきっかけづくりとなる紹介を行います。」と、現地に足を運ぶきっかけづくりとなる考え方に言及し、修正を行います。</p>
29	<p><b>○（参考）各展示エリア展示項目案 近現代について</b>          ・大正期から昭和期にかけて、岩国市沖柱島群島周辺の海域は、呉軍港の外港として、海軍の艦艇が演習などをしてきた。第二次大戦後期は対航空戦が度々行われた。（柱島泊地）</p>	<p>・常設展示（近現代）、または企画展の展示トピックを選定するうえでの貴重なご意見とし、今後の計画に活かしていきます。</p> <p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。          ■p.38&lt; 各展示エリア展示項目案&gt;の近現代に「柱島泊地」を追記します。</p>

第5章 教育普及活動計画

項目	番号	御意見の要旨	市の考え方及び対応方針
1 活動の基本的な考え方	30	<p><b>○展示及び活動の考え方について</b></p> <p>・展示および講座等のプログラムについて、来館者が博物館内にある展示・学習要素のみで満足してしまうのではなく、市内各所の史跡・旧跡や名所に足を運び、現地でも有意義な学びを得られるような仕組みを重視・構築することで、旧町村の観光振興にも繋げていただきたい。</p>	<p>・新博物館では、歴史や資料を紹介する中で、実際に各地域へ足を運ぶことを促すような紹介をしていきたいと考えています。</p> <p>・人物ゆかりの資料館との資料連携や紹介など展示面での取り組みのほか、市内各地への誘導やスマートフォン等のデジタル端末を用いた史跡、地域の文化・産業等館外の街あるきへと情報を持ち出せる閲覧情報のブックマークやマイマップ等の機能の提供も検討します。今後、活動プログラムの中でも場所性の視点は重視していきます。（p.38参照）</p> <p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <p>■p.29&lt;1 展示コンセプトと基本的な考え方（2）展示のポイント&gt;に、「①歴史を通して地域を知る：岩国市全域を対象に各時代の地域の特徴をよく反映したトピックを取り上げ、実際に現地に足を運び、地域をより深く知っていただくきっかけづくりとなる紹介を行います。」と、現地に足を運ぶきっかけづくりとなる考え方に言及し、修正を行います。</p>
4 周辺施設との連携	31	<p><b>○活動アイデアについて</b></p> <p>・「④産業振興施策との連携」を設け、「無形文化財としての錦川の鵜飼の紹介、地元酒蔵の利き酒会や岩国寿司、岸根栗、岩国連根等名産品の試食会の開催の実施。」を加えてはどうか。</p>	<p>・（仮称）錦帯橋資料館や本家松がねなどの周辺施設と機能や活動の面で重複のないように努め、連携を図るよう調整検討していきます。</p>
	32	<p><b>○周辺施設との連携・機能分担について</b></p> <p>・この計画では、（仮称）錦帯橋資料館との役割分担や連携について、また吉川史料館との連携について記述がないが、それらについての記述を加えるべき。</p>	<p>・新博物館では、「岩国市全域の通史」を展示対象としています。岩国市が持つ多様な歴史的背景を知るとともに、資料が持つ時代性や地域性をより分かりやすく学ぶことができる場として整備していきます。</p> <p>・利用者の方に、新博物館で地域の歴史を魅力あるストーリーとして伝え、岩国の歴史的背景といった基礎知識を深めていただくうえで、周辺及び各地域の史跡や文化財めぐり等をより深く理解し楽しんでいただくという流れを作ることで、地域学習・観光の両面に寄与する、各施設との展示テーマのすみわけや連携を行っていききたいと考えています。</p> <p>ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。</p> <p>■p.29&lt;1 展示コンセプトと基本的な考え方（4）新博物館の展示対象について&gt;に、「新博物館では、<u>岩国徴古館所蔵資料に加え、新たに集約する地域資料を活用し、展示及び教育普及活動を行います。「岩国市全域の通史」を展示対象とすることで、岩国市が持つ多様な歴史的背景を知るとともに、資料が持つ時代性や地域性をより分かりやすく学ぶことができる場として整備していきます。また、新博物館の立地として予定される城下町地区一帯には、岩国ゆかりの地域資料が豊富に残っており、それらを紹介する展示施設が多く所在しています。新博物館は、地域の歴史を魅力あるストーリーとして伝え、史跡や文化財めぐりをより深く楽しんでいただく文化観光拠点の一つとしても機能することで、各施設との展示テーマのすみわけや連携を行います。」と、連携を図るうえでの新博物館の位置づけに言及し、修正を行います。</u></p>
	33	<p><b>○施設連携について</b></p> <p>社会・文化施設のみならず、岩国市ならではの施設である防災学習館、科学センター、ミクロ生物館等の防災・科学教育施設とも密に連携することで、歴史と防災、歴史と科学を繋げた多様な社会・学校教育プログラムを市民に提供していただきたい。</p>	<p>・周辺連携については、幅広い分野の施設と活動の連携を図るよう調整検討していきます。</p>

第6章 管理運営計画

項目	番号	御意見の要旨	市の考え方及び対応方針
4 運 営 方 式 と 運 営 体 制	34	○(2) 運営体制について ・「館長は、(中略)人材を配置します。」は、「館長については、(中略)人材を配置します。」とすべき。	ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。 ■p50< 4 運営方式と運営体制 (2) 運営体制 ア.館長>の文章を見直し、文頭の「館長は、」を削除します。
	35	○(2) 運営体制について ○文章表現について(イ. 学芸員等の専門職員) ・最初の●の2行日にある「研究調査」は、これまでの用語である「調査研究」に統一すべきではないか。 ・「●研究取組を基に、展示や教育普及等の生涯学習の場としての事業活動を企画・推進する部門として、専門分野の知見を活かし、学校口地域での講師派遣や、地域・団体との連携事業活動のコーディネートを行います。」の文章の下線部については、「●調査研究の取組を基に、展示や教育普及等の生涯学習の場としての事業活動を企画・推進する部門においては、専門分野の知見を活かし、学校・地域での講師派遣や、地域・団体との連携事業活動のコーディネートを行える人材を配置します。」と修正すべき。 ・「●専門分野や文化財保存科学に関する最新動向の把握・研鑽を目的とした、研究会への参加に加え、他の博物館や専門機関との情報交換・交流機会の獲得等、博物館活動の質向上に向けた研修体制を充実させていきます。」の文章については、「●博物館活動の質向上に向けた研修体制を充実させるため、専門分野や文化財保存科学に関する最新動向の把握・研鑽を目的とした、研究会への参加に加え、他の博物館や専門機関との情報交換・交流機会の獲得等を行います。」に修正する方が理解しやすいと考える。	ご指摘を踏まえ、以下の修正を行います。 ■p50< 4 運営方式と運営体制 (2) 運営体制 イ.学芸員等の専門職員(研究・事業企画)>の文章を見直し、「●調査研究を基に、展示や教育普及等の生涯学習の場としての事業を企画・推進する際には、専門分野の知見を活かし、学校・地域への講師派遣や、地域・団体との連携を円滑に行える人材を配置します。●専門分野や文化財保存科学に関する最新動向の把握・研鑽を目的とした、研修への参加に加え、他の博物館や専門機関との情報交換・連携等、総合的な視野を持って博物館活動の質向上に取り組み体制を充実させていきます。」に変更します。
	36	○(3) 活動評価と改善のしくみづくり について ・「●博物館の活動・運営内容等に関して指導・助言を行う運営協議会の設置を検討します。」という消極的な書き方ではなく、「●博物館の活動・運営内容等に関して、外部有識者をはじめ関連部門の長が指導・助言を行う運営協議会を設置します。」とすべき。 ・「ウ.事業活動評価委員会」の項を設け、「●博物館開館後、毎年定期的に微古館日新博物館での事業活動について評価、改善策を審議する外部有識者中心の事業活動評価委員会を設置します。」を加筆すべき。	・運営協議会や事業活動評価委員会といった組織の設置に関しては、関連部署とも調整の上検討していきます。貴重な意見として今後の参考とさせていただきます。

計画書及び計画全般への提言又は意見

項目	番号	御意見の要旨	市の考え方及び対応方針
	37	○全般 ・文化審議会博物館部会がまとめられた博物館法制度の今後の在り方について(答申案)を考慮されたい。	・計画の策定にあたっては、法制度を含めた情勢を注視しながら行っています。
	38	○全般 ・文章の行間ですが、ところどころのページで行間が詰まっているところがあり、できる限り、行間隔を統一すること。	・体裁を見直し、修正を行います。